

2010年商店街イベント  
**「大阪あきない祭り2010」開催** 2010.10.10日・11日 於)史跡難波宮跡(特設ステージ)

大阪市内24区、それぞれの地域コミュニティの中心的役割をになう商店街が、総力を結集して大阪の魅力を発信するイベント、「大阪あきない祭り2010」が開催されました。  
 このイベントを通じて、商店街の魅力を再発見していただくとともに、大阪の「まち」や「人」の魅力を結集し、子どもから大人まで楽しめる観光都市としてもアピールしました。  
 期間中、市内の商店街で行われる各種イベントでは、元気なまち、大阪を感じていただける内容。当協議会も、ゴスペルグループ「Human note」とストリートダンスグループ「BASE」の演技で参加。爽やかな秋の空の下、エネルギッシュなステージをご来場の皆さんと共有することができました。

主催/大阪あきない祭実行委員会  
 (大阪市・大阪市商店街総連盟)



21日のステージは盛り盛り!!



「スゴい」思わず声に出すアツいストリートダンスを披露してくれた「BASE」



大空に届く「Human note」の「みんな女たち」は愛と勇気の歌です。



悠らかに舞り上げてくれた河内家水元さん(左)と河内音楽に合わせた踊る舞踏グループの皆さん

**祝 大阪文化賞・奨励賞を受賞** 株式会社 劇団往来

当協議会理事 鈴木健之亮さん率いる劇団往来、STAGE21、S.A.B.カンパニーが平成22年度・大阪文化祭(主催:大阪府・大阪市・財)大阪21世紀協会)において「音楽劇『チンチン電車と女学生』」で大阪文化賞・奨励賞を受賞されました。あらためてお祝い申し上げます。

**上方演芸よもやまばなし (第6回)**

職場の上司M課長は、大の上方演芸好き。中でも漫才と松竹新喜劇に関しては、「好き程度」がすごくて、いつも驚かされます。

例えば、私が某漫才師さんの名前を言うだけで「師匠は〇〇で、最初のコンビ名は□□で、その相方は△△で…」と、横顔をスラスラ話ってくれます。まるで歩く上方演芸事典と言っても過言ではありません。

松竹新喜劇は、何度か舞台を見にご一緒させてもらっていますが、行く前に、これから見る演目の過去のDVDを渡してくれます。そして、演出から役者まで、その違いを細かに教えてくれます。おかげで上方喜劇の歴史や奥の深さを改めて知ることができました。

何より見習いたいのは、心から楽しもうという気持ちで、頻りにナマの舞台を見に行かれることです。関西演芸推進協議会の活動目的の一つに「よりよき鑑賞者を育てる」というものがあります。M課長は、まさしくよき鑑賞者、上方演芸を支える存在です。そして、課長のような人がひとりでも増えることが、上方演芸界が盛りあがる上で、とても大事なことだと思うのです。 松井 あゆ子

**編集後記** 毎年、秋になるとウキウキ気分になるのは何故なのでしょうが、過ごしやすいくらいの気候、美味い味覚、月明かりも美しく、紅葉も綺麗か…。とは思い、気になるのが体重計…。そこを補うのは適度な運動で〜!?最近、朝には、ゴルフだ、テニスだ、ジョギングだ〜と、話題になっていたりする。「聞いて歩くだけで楽しいプロポーショナル」というシューズがあるCMで、そのシューズが欲しくて欲しくて11月には、この時期、効果的なアプローチなんてないけれど、まあまとその思想にはまりそうにならぬ。それなら「口説き文句」になびいてしまおう〜!美味い秋を愉しく過ごすためには、美しいプロポーショナルはやはり理想となってしまうのかもしれない…。西菜のカ、表裏の真一乙女(?)心は永遠に〜会報誌「笑ライブ」もあなたを魅了できる口説きのテクニク、修行中でございます!では次号まで、お会いしましょう♥

**関西の上質な演芸文化のために…**

**NPO法人関西演芸推進協議会**

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思います。あなたの入会で、まず一歩、参加して一歩…と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声をかけいただけましたら幸いです。

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| <b>■主目的</b>    | <b>■会員特典</b>                     |
| 1 定期例会の実施      | 1 定期例会に、会員料金が手付できる。              |
| 2 関西演芸大賞の設立    | 2 関西演芸推進協議会が主催する各種交流会、勉強会に参加できる。 |
| 3 芸人のための劇場をつくる | 3 会報誌の発行(年3回)                    |

- |            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| <b>■会費</b> |                                       |
| 入会金        | 個人会員 2,000円<br>賛助会員 20,000円           |
| 年会金        | 個人会員 年間1口 3,000円<br>賛助会員 年間1口 30,000円 |
- ※いずれも何回でも可能。

**会員継続の手続きをお願いします。**

会員継続のご案内をお送りしています。お届けておます振込み用紙に必要事項を御記入の上、会費の納入をお願い致します。

公式ウェブサイトにもご覧ください。  
<http://www.walive.org>



**イベント予告**

- 11/14(日) 関西演芸協会創立60周年記念公演「関西演芸協会まつり」  
 於)ワッパホール(12:00~17:00~2部公演)
- 12/10(金)勉強会 1部:吉本興業 執行役員田中宏幸氏講演  
 2部:中井孝博理事とのトークセッション 於)大阪産業推進協議会(18:30~)



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

**笑ライブ 第10号**

w a l i v e 2010年10月

「笑ライブ」とは… 「笑」、「喜」、「SHOW(見せる)」「LIVE(ライブ)」の意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなて手を取り「輪」の思いから名前にしました。

発行

NPO法人関西演芸推進協議会  
 編集部  
 <事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4  
 千房株式会社内  
 TEL.06-6633-1430  
 FAX.06-6633-1435  
<http://www.walive.org>  
[info@walive.org](mailto:info@walive.org)

**INFOMATION**

長く、暑い夏が過ぎ、当協議会は4回目の秋となりました。振り返ると、色々なイベントを開催してきたことに気づきます。毎回、運営スタッフはイベント毎に打合せを行い企画をはじめ、出演依頼、会場の段取りなどを行います。当日の開催までは、ハラハラドキドキ…。しかし、いつもイベントが終わると、参加いただいた会員の皆様やお客様に「心」を感じ、毎回、嬉しい気持ちになります。こうして、イベントのご案内や報告がこの会報誌「笑ライブ」上で行えるのも会員の皆様のおかげです。引き続き、皆様と楽しめる企画をと思っておりますので、変わりなく御支援・ご協力の程、お願い致します。

**CONTENTS**

☆新年会	1頁
☆勉強会 講演:浪花歌笑師匠	2頁
☆講演会&ディナー	3頁
☆御座席オープンフェスタ・あきない祭り	4頁
☆2010年商店街イベント「大阪あきない祭り」	4頁
☆協議会入会のご案内	5頁

**Report 新年会 2010.1.27 於)ホテルメトロTHE21**

**「絵描き 恥かき 40年」第1部 記念講演 <講師 成瀬 國晴先生>**

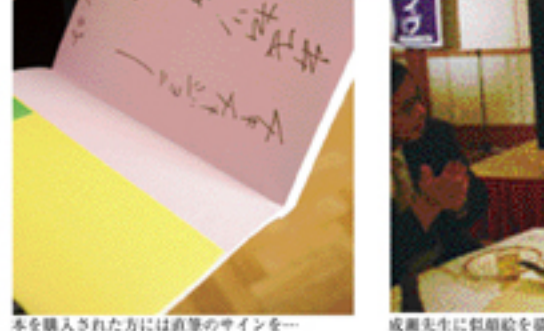


講演は、成瀬先生の描かれた似顔絵などのスライドを見ながら、描かれた時のエピソードを紹介いただきました。

大阪・宗右衛門町のホテルメトロTHE21において、新年祝賀会を開催しました。第一部の講演にはイラストレーターの成瀬國晴先生をお招きし、独特のタッチが誕生するまでの経緯や似顔絵を描かれてこられて有名人や芸人の意外な一面に触れられ、先生独特の視点から講じていただきました。また、参加者の中から抽選で1名の方に成瀬先生による似顔絵が贈られました。

**「描く人の横顔から感じるもの」**

成瀬先生は、写実の絵を基に「似顔絵」というジャンルを花札のデザインに見立て、描きはじめてから、独自の画風を確立。関西を拠点に、文化・スポーツ・芸能の各分野で活躍されてきた方を描き続けて来られました。「ノックは無用」のスタジオ装飾でもお馴染みです(よね…)似顔絵を描かれる際に、実際に会われて、話をされたり、仕事場を見たりされることが多いとのこと。話されなくても、横顔を見たり、その回りの空気を感じるだけで、その人のオーラが伝わってくることもあるとか。たくさんの有名人の似顔絵を描いてこられた成瀬先生は、阪神タイガースのスローガンデザイナーも請け負われた経験があり、主には、1985年の吉田監督時代にはじまり、'97-'98年の吉田監督時代、'99-'01年の野村監督時代、そして'02-'03年の星野監督時代と、いずれも好成績を納めた時代にチームを活気づける役割も担われ、盛り上げて来られた関西の立役者でもあるということでしょう…。



本を購入された方には直筆のサインを…

成瀬先生に似顔絵を描いてもらったのは、歌手の江真知子さんでした。

協議会・相談役 藤本真一先生

DJ川村麗一さん



Report

## 勉強会 2010.3.25 於)立命館大学大阪オフィス

### 「浪曲観賞会」～80年の芸歴、ココロに響くパワー



芸歴80年! 凄いやわりの浪曲師・浪花歌笑師匠の浪曲を愉しませていただきました。声の艶、肌のハリ! 中年女性としては、そちらの方もレクチャーいただきたいと思う御姿に…。聴いていると、大阪・浪速の歴史や、昔の商人のやりとりなどが目に浮かんでくるから面白い…。近々師匠のミュージカルもありますので(写真右)、ご興味のある方、是非…。



Report

## 通常総会 2010.6.24 於)スイスホテル南海大阪

### 着実に歩んだ1年を振り返り、新しい年度への豊富と期待を寄せて…

本年度、NPO法人関西演芸推進協議会は5年目を迎えることになりました。これまでの活動をまとめた映像で、過去のイベントを振り返り、実にたくさんの演芸と芸人さん、そしてイベントにご来場いただいたお客様にあらためて感謝する次第です。

さて、本年度の大きな指針としましては、昨年までの共催してきた大阪市商店会総連盟との「出前寄席」が各商店会での自主運営に移行する中、当協議会の本来の目的である演芸会や勉強会などの内容をレベルアップして、当初から掲げてきた「演芸を



乾杯の音頭は、もず明平先生にお願ひしました。

育て、鑑賞者を育て…」という目的をさらに見つめて充実した会の運営を目指します。

第一歩としましては、8月に開催しました「藝術祭賞がやってきた」の第一弾では、人間国宝の一人龍齋貞水さんをお招きし、関西では貴重な怪談を講じて頂きました。

今後も、雑誌「上方芸能」の木津川先生のお力添えもいただきながら、藝術祭賞を受賞された芸人さんをお招きして様々な芸に触れられるよう企画・運営を促して参ります。



小野寺親会長によるご挨拶で総会がスタートしました

懇親会でご挨拶をいただいた会員・役員のみなさま(一部です)

Report

## 講演会&ビアパーティー 2010.7.21 於)ニューミュンヘン倶楽部・心齋橋店

### 初夏の御堂筋は大人たちが盛り上り…ビアホールは満員御礼!! その訳は!?

### 中井政嗣専務理事の講演&ビアパーティー…

### サプライズゲストにミス花子さん!!

協議会・専務理事、中井政嗣氏のわずか30分(本当はもっと聴きたいけど…もうちょっと聴きたい…てのもいいもんでしたね)の講演とあってか、はたまた、「ビールが飲み放題」とあってなのが、ニューミュンヘン倶楽部・心齋橋店は、キューキュー詰めの大入り満員!! 初夏の夜空をジャックされたかと思う程、賑やかな会となりました。また、サプライズ・ゲストにミス花子さんが登場! お馴染みの「♪せやんけ、わっれ〜っ!!!」です! ベタな大阪の夏の夜を堪能した、スペシャルな企画3点セット。今後の企画も、この要素、少し交えましょうね♪ (推進会議スタッフのみなさん、よろしくですm(\_)\_m)



ミス花子さん、夏夜にふさわしい楽曲を演奏していただきました。いつもお楽しみいただいております。



協議会・専務理事、中井政嗣氏による講演の様子です。

Report

## 御堂筋オープンフェスタ・あきない祭 2010.5.8~9 於)旧精華小学校

### 五月の晴天に響け、笑いの声! ゴールデンウィークのひとつきを演芸と共に…

5月8日・9日の両日、旧精華小学校於いて、御堂筋オープンフェスタが開催されました。当協議会も昨年に引き続き「笑らいふ」として参加、ゴスペルやダンス、漫才、マジックなどバラエティーに富んだ演目でお客様との共演を楽しみました。



### 笑い大阪 笑い



2日目は平松邦夫大阪市長もご挨拶をくださいました。

Report

## 藝術祭賞がやってきた 2010.8.22 於)大丸心齋橋劇場

雑誌「上方芸能」木津川計先生とコラボ企画第1弾

### 《藝術祭賞がやってきた》は、

「受賞者の最高水準の芸を間近で鑑賞できたら…」

「同時に、それが関西の演芸文化の発展につながれば…」

そんな私たちの趣旨にご賛同いただいた藝術祭賞受賞の方々のご登場です。

企画段階から、木津川計先生と打ち合わせを重ね、10年前まで「上方芸能」が京都で主催していたイベントを、協議会がこの度、刷新して大阪でスタートすることになりました。



迫力満点でした。一龍齋貞水さんをお招きしての「藝術祭賞がやってきた」第一弾を開催しました。講談、人間国宝と聞いて、少し構えていたかもしれませんが、見事に裏切られるかたちで、ぐっと引きつけられて…「お岩さん」の序章とも言える話。独自の照明効果も相まって、迫力ある、怪談話は貴重な体験になったはず。あっという間に時間が過ぎました。

また、木津川計先生の講演は、「話芸と話術はどう違うのか?」を題材に、「話」の芸と技の側面を談話を交えて分かりやすく解説いただき、現代の話芸の発展性や古典の醍醐味など専門性が高い内容ながら興味深く聞き入る鑑賞者のみなさまの顔つき、そして、時に笑い…大阪での貴重な体験となり、充実の講演を開催できたことに感謝する次第です。



ほんまもんのは 私たちに大きな感動や喜びを 与えてくれます